

1年次

心理学

【Psychology】

担当責任者 教務部長

ねらい

基本的な心理学的見方や共感の重要性などを習得し、医師・患者関係に限らず、一般的な対人関係に於ける協調的な態度の重要性について理解する。その上で、産業精神保健上、重要なうつ病を中心とする心理学的知識及び産業医としての対処方法を習得する。

学修目標

1. 正常心理の理解を深め、不安や抑うつ状況にある人の心の状態について、より具体的に説明することができる。(I-1, I-5, II-3, II-4, II-8, III-2, III-4, IV-8, VI-1, VI-3, VI-5)
2. 心とは何かということについて思考する能力を養う。そのことを通じて、より広く課題発見・自己解決的思考能力及びその態度を養う。(V-1, V-3)
3. 産業精神保健における産業医の役割について理解を深める。(III-1, III-2, III-4)
4. 心の理解を通じてストレスマネジメントやカウンセリングの基礎を理解できる。(III-1, IV-1, VI-1, VI-3)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考資料などで事前に学習しておくこと。
2. 配布された講義テキストや資料を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 試験(60点程度)+レポート(20点程度)+小テスト(20点程度)+(その他の課題等)
2. 100点満点で60点以上が合格。出席状況および課題への取り組みの姿勢等(主体的な姿勢)を加味し、総合的に判断する。
3. 各担当講師により個別に課題が課せられる場合もある。

○教科書

特に指定しない。

○参考書

- 木村敏・時間と自己 1995年(中公新書)
木村敏・自覚の精神病理 自分ということ 1996年(紀伊國屋書店)
高良武久・森田療法の実際 あるがままの人間学 1993年(白揚社)

1年次

講義:2301講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.9.7	火	1	オリエンテーション				樋渡 由貴(学外)
"	"	2	社会・産業の発展と心理学小史	A	1	1	"
9.14	"	1	心と脳-心とは何か(DVD視聴含)	C	2	3	"
"	"	2	心の病理と健康	B	1	5	"
9.21	"	3	心の働きとしての感覚・知覚	C	5	1	"
"	"	4	心の働きとしての認知	"	"	"	"
9.24	金	1	産業精神保健の実際①	B	4	"	副田 秀二(学外)
"	"	2	産業精神保健の実際②	"	"	"	"
9.28	火	1	性格と性格検査	C	5	"	樋渡 由貴(学外)
"	"	2	パーソナリティ障害	"	"	6	"
"	"	3	自我の発達	"	"	"	"
"	"	4	神経発達症群	"	"	5	"
10.1	金	1	メンタルヘルス関連疾患の概要①	"	"	4	副田 秀二(学外)
"	"	2	メンタルヘルス関連疾患の概要②	"	"	"	"
10.5	火	1	集団・社会	A	3	1	樋渡 由貴(学外)
"	"	2	産業カウンセリングの導入	"	"	"	"
"	"	3	産業メンタルヘルス	"	"	"	"
"	"	4	カウンセリングのロールプレイ	C	5	7	"
10.12	"	3	対人関係とコミュニケーション	"	"	"	"
"	"	4	働く人への認知療法	"	"	8	"
10.15	金	1	現代日本の産業社会における精神保健の現状と問題	A	1	1	副田 秀二(学外)
"	"	2	職場における心の問題の実態-その現れの特徴-	B	4	"	"
10.19	火	3	ストレスマネジメント	C	5	4	樋渡 由貴(学外)
"	"	4	組織支援のグループ・アプローチ	A	"	1	"
11.5	金	1	精神保健における産業医の役割	F	1	31	副田 秀二(学外)
"	"	2	各種の連携の要としての産業医	"	"	"	"
11.26	"	7	うつ病の概要とその理解	"	"	"	"
"	"	8	うつ病への援助のポイント-復職支援の実際-	"	"	"	"
12.17	"	5	まとめ				"
"	"	6	テスト				"